

教育の国際化

学指導等を行う外国青年招致事業（JET プログラム）

JET プログラムは、「語学指導等を行う外国青年招致事業」(The Japan Exchange and Teaching Programme) の略称で、外国語教育の充実を図るとともに、地域レベルでの国際交流を推進することを目的として、総務省、外務省、文部科学省及び財団法人自治体国際化協会の協力の下に地方公共団体等が外国青年を招致する事業であり、昭和62年度の開始以来、平成29年度で31年目を迎える。

平成29年度のJETプログラムでは、全国で約5,163名が招致され、本県では141名の外国青年が、語学指導助手(ALT:134名)、国際交流員(CIR:7名)として県内の自治体に任用された。語学指導助手は全員、英語の指導助手として、日本人教員とともに県立高校(32名)や市町村教育委員会(小中学校、102名)で英語の指導に当たっている。国際交流員は県(5名)と郡山市、いわき市で国際交流事業の企画運営などに携わっている。

JET 参加者は、本県滞在中は、単に語学指導等の本業のみにとどまらず、広く地域社会の国際理解に貢献しており、また、帰国後は母国とわが国との架け橋として活躍している。

JET 招致人数の推移

	S62～H18 累計 (小計)	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	累計 (合計)
ALT	1,800	157	149	148	145	121	127	130	132	133	133	134	3,309
CIR	63	5	5	5	5	4	5	4	4	6	7	7	120
SEA	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
計	1,868	162	154	153	150	125	132	134	136	139	140	141	3,434

国別の招致人数(ALT+CIR+SEA)の推移

	S62～ H18 累計 (小計)	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	累計 (合計)
アメリカ	834	78	64	64	53	44	53	60	66	64	71	63	1,514
イギリス	349	17	15	15	17	17	18	14	16	18	21	22	539
カナダ	293	23	26	24	29	28	27	26	25	24	19	21	565
オーストラリア	204	25	26	26	24	11	14	13	13	15	13	13	397
ニュージーランド	121	10	15	17	18	11	9	9	6	5	6	9	236
アイルランド	31	3	1	1	2	2	0	0	0	0	1	4	45
中国	14	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	24
南アフリカ	14	1	1	1	0	5	2	3	1	1	1	3	33
ジャマイカ	2	1	1	1	1	3	4	5	4	5	3	2	32
シンガポール	5	2	3	2	4	1	1	0	0	0	0	0	18
インド	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5
バルバドス	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	5
フィンランド	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	4
トンガ	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	5
ガーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	3
オランダ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	6
ドイツ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3
計	1,868	162	154	153	150	125	132	134	136	139	140	141	3,434

(国際課調べ)

教員の研修制度

県教育委員会では、県内の教員向けに「文部科学省教員海外派遣事業」及び「英語担当教員海外研修」を実施していた。現在は外務省の若手教員米国派遣交流事業のみ実施しており、H29 は教諭 1 人を 21 日間派遣した。

文部科学省教員海外派遣事業 (年度別派遣人数 公立) (単位：人)

	元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14-29	累計 (S34-)
長期(30日)	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	0	0	0	353
短期(16日)	23	23	25	26	27	27	27	27	51	51	51	54	88	0	1,238
若手(60日)	1	1	1	1	2	2	3	3	4	4	4	4	4	0	34
日米(90日)	0	0	0	0	0	0	0	0	4	5	5	5	5	0	24
計	28	27	29	30	32	32	33	33	62	63	62	63	97	0	1,649

英語担当教員海外研修(年度別派遣人数 公立)

(単位：人)

	元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H23	H24	H25	H26	累計 (S54-)	
2か月	2	2	2	2	2	2	3	2	2	/	/	/	/	/	0	6	4	5	0	0	0	0	0	0	53
6か月	1	1	1	1	1	1	1	1	2	3	3	3	3	4	0	0	0	0	0	1	1	1	0	29	
12か月	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	
計	3	3	4	4	4	4	5	4	5	4	4	4	4	4	0	6	4	5	0	1	1	1	0	93	

※2か月研修の平成10年度～平成14年度は休止

(義務教育課・高校教育課調べ)

若手教員米国派遣交流事業 (単位：人)

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	累計 (H23～)
若手(20日)	1	1	1	0	2	4	1	10

在外教育施設派遣教員数

平成29年度において、21名の教員(小学校12名、中学校9名)が日本人学校(在留邦人団体を母体とし、国内の小学校又は中学校と同等の教育を行う全日制の教育施設)に派遣されている。

派遣先	派遣人数	派遣者職名	派遣期間
バンコク	1	小学校教諭	28.4.1～30.3.31
ロンドン	1	中学校教諭	28.4.1～30.3.31
クアラルンプール	1	小学校教諭	27.4.1～30.3.31
ハノイ	1	小学校教諭	27.4.1～30.3.31
ニューデリー	1	小学校教諭	27.4.1～30.3.31
コタキナバル	1	小学校教諭	27.4.1～30.3.31
	1	中学校教諭	28.4.1～30.3.31
シラチャ	1	小学校教諭	27.4.1～30.3.31
	1	中学校教諭	27.4.1～30.3.31
モスクワ	1	小学校教諭	27.4.1～30.3.31
リヤド	1	小学校教諭	27.4.1～30.3.31
スラバヤ	1	小学校教諭	27.4.1～30.3.31
サンパウロ	1	中学校教諭	27.4.1～30.3.31
ワルシャワ	1	中学校教諭	27.4.1～30.3.31
チューリッヒ	1	小学校教諭	28.4.1～30.3.31
アムステルダム	1	中学校教諭	28.4.1～30.3.31
マドリッド	1	中学校教諭	28.4.1～30.3.31

フランクフルト	1	小学校教諭	29.4.1～31.3.31
イスラマバード	1	小学校教諭	29.4.1～31.3.31
バルセロナ	1	中学校校長	29.4.1～31.3.31
リマ	1	中学校教諭	29.4.1～31.3.31

(義務教育課調べ)

国際理解教育・国際交流

(1) 国際姉妹校

国際姉妹校は県内に11組ある。特に県南地域に多い。なお、姉妹校交流という形はとらないまでも、生徒の相互派遣をしている学校も少なくない。

学校名	姉妹校名	国	提携年度	活動状況
会津坂下町立坂下東小学校	ホベルト・ノリオ小学校	伯	H27	文通・作品交換、姉妹校訪問等
会津若松市立東山小学校	ゴールドトレイルスクール	米	S55	文通・作品交換、姉妹校訪問等
棚倉町立棚倉中学校	カーディフハイスクール	豪	H元	姉妹校訪問、児童生徒受入等
南相馬市立石神中学校	ロセットスクール	英	S62	姉妹校訪問、児童生徒受入等
福島南高校	ケステバン・グランサム女子中等学校	英	H5	相互訪問、ホームステイ、交流活動
須賀川桐陽高校	グロスマンハイスクール	豪	H3	相互訪問、ホームステイ
田村高校	ライスレイクハイスクール	米	H12	ホームステイ
会津農林高校	利川第一高校	韓	H22	相互訪問・ホームステイ、文通
喜多方市立山都小学校	吉林省長春市西五小学校	中	H20	作品交換等
大玉村立大玉中学校	桃園市立大竹國民中學	台	H29	姉妹校訪問、生徒受入等
視覚支援学校	ソウル盲学校	韓	H5	情報交換・相互訪問

(平成29年12月 義務教育課・高校教育課調べ)

(2) 県立高校による国際交流

①教育課程(科目名：国際交流)に位置付けられたもの(平成29年度)

学校名	行き先	訪問都市	日数	出発日・帰着日	参加生徒数	引率者数
福島南高校	イギリス	グランサム	14	6月30日(金)～7月13日(木)	21	2
郡山高校	オーストラリア	ブリスベン	14	7月21日(金)～8月3日(木)	38	2
あさか開成高校	オーストラリア	ブリスベン	14	7月11日(火)～7月24日(月)	26	2

②「平成29年度ふくしまの未来を担う高校生海外研修・グローバル支援事業」において行うもの(平成29年度)

学校名	行き先	訪問都市	日数	出発日・帰着日	参加生徒数	引率者数
福島高校	イギリス	ケンブリッジ	12	7月12日(水)～7月23日(日)	10	2
安達高校	オーストラリア	シドニー	11	7月31日(月)～8月10日(木)	14	2
会津高校	アメリカ	ボストン	9	3月18日(日)～3月26日(月)	23	2
会津学鳳高校	台湾	台北	5	1月7日(日)～1月11日(木)	20	2
平商業高校	カナダ	バンクーバー	8	12月22日(金)～12月29日(金)	10	2

(高校教育課調べ)

上記①及び②の学校は「平成29年度ふくしまの未来を担う高校生海外研修・グローバル支援事業」の対象校として、現地において福島県の現状を伝える活動や各国におけるエネルギー関連施設の訪問などを行った。

③その他(平成 29 年度)

学校名	行き先	訪問都市	日数	出発日・帰着日	参加生徒数	引率者数
福島高校	台湾	台北、高雄	6	7月26日(水)～7月31日(月)	2	1
	アメリカ	サンフランシスコ	10	10月26日(木)～11月4日(土)	2	1
あさか開成高校	韓国	ソウル	5	9月25日(月)～9月29日(金)	4	1
会津学鳳高校	台湾	台北、新竹	5	1月7日(日)～1月11日(木)	20	2
いわき海星高校	アメリカ	ホノルル	1	出港日4月27日(木)～入港日6月26日(月)	34	2
ふたば未来学園高校	ドイツ	フライブルク	8	1月6日(土)～1月13日(土)	12	3
	アメリカ	ニューヨーク	10	3月2日(金)～3月11日(日)	12	3

(高校教育課調べ)

(3) 海外への修学旅行

平成 10 年度からは、県立高校の海外修学旅行が可能になった。平成 18 年度以降の実績は次のとおり。

< 県立 >

高校名	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
福島高校	オーストラリア	オーストラリア	オーストラリア	(マレーシア予定を中止)					台湾	台湾	台湾	台湾
福島北高校		中国										
福島東高校			韓国									
福島南高校									台湾	台湾	台湾	台湾
梁川高校			韓国									
安達高校		韓国										
安積高校		シンガポール			韓国						台湾	
あさか開成高校		シンガポール	韓国	シンガポール	シンガポール			シンガポール	シンガポール	シンガポール	シンガポール	シンガポール
岩瀬農業高校				中国			韓国					
光南高校					韓国							
小野高校		韓国										
棚倉高校	中国											
会津高校			中国									
猪苗代高校		グアム										
会津農林高校			韓国									
田島高校	グアム	グアム										
南会津高校				韓国								
只見高校	韓国		韓国									
平商業高校								シンガポール				
いわき総合高校	韓国		マレーシア									
いわき光洋高校		韓国										
小名浜高校						韓国						
磐城農業高校					韓国							
勿来工業高校			台湾									
遠野高校		韓国			韓国							
四倉高校				韓国								
富岡高校		韓国										
小高商業高校								シンガポール	シンガポール			
小高工業高校												
白河第二高校			韓国		韓国							
(会津学鳳中学校)					(韓国)							

(高校教育課調べ)

<私立>

高校名	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
福島高等学校	米国	米国	米国 (加州)	米国	米国	米国	米国	米国	米国	米国	米国	米国
松栄高等学校	米国	米国	米国 (加州)	米国	米国	米国						
福島成蹊高等学校				カナダ	カナダ	カナダ	カナダ	カナダ	カナダ	カナダ トルコ	ベトナム カンボジア カナダ 台湾	ベトナム カンボジア カナダ 台湾
桜の聖母学院高等学校	カナダ	カナダ		カナダ		カナダ		カナダ	カナダ	カナダ	カナダ	
福島東陵高等学校				ハワイ								ニュージーランド
聖光学院高等学校				韓国								台湾
郡山女子大附属 高等学校			台湾	台湾	台湾							米国
帝京安積高等学校		オーストラリア	オーストラリア	台湾		オーストラリア	オーストラリア					
尚志高等学校	オーストラリア、 シンガポール、 マレーシア、 中国	米国、メ キシコ	米国(加 州)、メキ シコ	米国、 メキシ コ		米国	米国	米国	米国	米国	米国	米国
日本大学東北高等 学校	ハワイ	ハワイ	ハワイ	オーストラ リア		オーストラ リア	オーストラ リア					
学校法人石川高等 学校	ハワイ	シンガポ ール	シンガポ ール	シンガポ ール		シンガポ ール	シンガポ ール	シンガポ ール カナダ	シンガポ ール カナダ	シンガポ ール	カナダ 台湾	台湾
学校法人若松第一 高等学校							韓国	韓国	韓国			
会津若松ザベリオ 学園高等学校											シンガポ ール	シンガポ ール
仁愛高等学校	オーストラ リア、 韓国	オーストラ リア	ハワイ オーストラ リア	オーストラ リア	ハワイ (延期)	オーストラ リア	ハワイ	ハワイ	仏	英	ドイツ	米国
東日本国際大学昌 平高等学校	中国	中国	中国	韓国		韓国			シンガポ ール			
いわき秀英高等学 校	仏	仏	蘭、仏、 ベルギー	仏、 ベルギー	仏、 ベルギー	仏、 ベルギー	仏、独	仏、独	仏、独	仏、独		フィンランド スウェーデン

(私学・法人課調べ)

(4) 朝河貫一賞

朝河貫一賞は、県内の中学高校生を対象に国際理解・国際交流に関する論文を募集し、表彰するもので、平成3年に創設された。世界の様々な文化や価値観を尊重し国際社会の平和と発展を担うことのできる国際性豊かな青少年を育成することを目的としている。

他国の現状を様々な角度から分析し、日本と他国との関わり方から自己の生き方を見つめたり、国際交流の在り方について思考を深めたりするなどの作品が多く見られる。

(義務教育課調べ)

県内大学の国際交流

(1) 会津大学

① グローバル推進本部 国際戦略室

会津大学では、「研究教育分野の国際的連携」、「国際的人材の養成」、「地域特性に応じた連携の展開」、「国際戦略実行体制の整備」を4つの基本的な国際戦略として掲げ、平成17年7月に設置した会津大学国際戦略本部を中心として全学体制で国際交流活動を推進している。また、平成26年度に「スーパーグローバル大学創成支援」の採択を受け、ICTイノベーションによる世界へ羽ばたくグローバル人材の育成を目指している。

② 国際交流協定

[大学間等交流協定締結先]

ロシア	サンクトペテルブルグ大学、ノボシビルスク国立大学、サンクトペテルブルグ工科大学
中国	上海大学、上海交通大学、南京大学、ハルピン（哈爾濱）工業大学、暨南大学、山東省科学院、東北大学秦皇島分校、東北大学、河北工業大学、大連東軟信息学院
台湾	淡江大学、朝陽科技大学、国立中央大学・大学院天文研究所
韓国	高麗大学、ハリム（翰林）大学、APEC 気候センター
アメリカ	ローズハルマン工科大学、サンノゼ州立大学、テンプル大学
ドイツ	デュッセルドルフ専門大学（FH-D）
フランス	ロレーヌ工科大学 ナンシー校
ベトナム	FPT大学、ベトナム国家大学ハノイ国際外国語大学、郵政電信工芸学院、ハノイ工科大学、ベトナム国家大学ハノイ・工業技術大学、ベトナム国家大学ホーチミン市国際大学
インド	インド工科大学、デリー大学、インドMITブネ芸術デザイン工科大学、インド工科大学ハイデラバード校
ポルトガル	ポルト大学
ニュージーランド	ワイカト大学
エストニア	タリン工科大学
UK	ノーザンブリア大学
タイ	モンクット王トンブリー工科大学

[具体的な取組に関する協定]

《共同研究》

台湾	朝陽科技大学 (DDP)
----	--------------

《国際単位互換 (ICEP) ・デュアルディグリープログラム (DDP) ・学部 2+2 プログラム (2+2) ・博士前期課程 1+1 プログラム (1+1) 、グローバル 3+2 プログラム (3+2) 》

ロシア	ノボシビルスク国立大学 (DDP)
中国	上海大学 (DDP・1+1) 、ハルビン工業大学 ソフトウェア学院/コンピュータ科学技術学院 (DDP) 、大連東軟信息学院 (2+2) 、東北大学、東北大学秦皇島分校 (3+2)
アメリカ	ローズハルマン工科大 (ICEP)
韓国	ハリム大学工学部大学院 (DDP)
台湾	朝陽科技大学 (DDP) 、淡江大学 (DDP)
ベトナム	郵政電信工芸学院 (1+1) 、ハノイ工科大学 (2+2)

《その他》

米国・中国	「サンノゼ州立大学・会津大学・大連東軟信息学院との一般協定」(サンノゼ州立大学、会津大学、大連東軟信息学院)
-------	--

③ 平成 29 年度の主な国際交流活動

- ・学部初年次から、英語のみで教養科目と専門科目を履修することにより卒業が可能なコース（ICT グローバルプログラム全コース）における受入れを開始した。（H28. 10～）
- ・東北大学、東北大学秦皇島分校との教育研究交流における連携を深めるためグローバル 3+2 プログラムを構築、世界の ICT 教育を展開する。（H29. 1～）
- ・福島県の大学生事業等を用いた地域活性化活動として、南会津町の集落の地域住民と継続した交流を実施した。留学生が積極的に参加することによる国際交流や地域課題の解決につながる機会を創り出している。（通年）
- ・会津若松市内の一箕小学校等へ留学生の派遣を実施した。国際戦略室が主体となって、交流内容を事前に留学生や派遣先と綿密に調整することにより、より交流内容が充実している。（通年）
- ・夏と秋に開催した本学のオープンキャンパスにおいて、グローバルラウンジを開放し、留学生による各国紹介及び本学からの派遣学生の体験談を地域の方と共有することができた。（H29. 8、10）
- ・うつくしま育樹祭やインバウンド向け実証実験のモニターツアー等のイベントやワークショップに招へいされ、日本人学生を始め留学生が積極的に国際交流するなど、多岐に亘って地域交流を推進している。（通年）

④ 留学生（H29. 12. 31 現在）

人数：86 名

国籍：中国(35)、ベトナム(18)、台湾(5)、韓国(1)、モンゴル(1)、ネパール(2)、イラン(1)、バングラデシュ(2)、タイ(3)、スリランカ(3)、アメリカ(1)、ロシア(2)、キルギス(1)、ベラルーシ(2)、ナイジェリア(1)、カメルーン(1)、フランス(2)、ドイツ(4)、ブラジル(1)

⑤ 国際学術交流事業について

開学以来、国際的な学術共同研究の実績を積み上げ、コンピュータサイエンスの分野において学術振興を図るため、国際ワークショップ、国際学術会議及び国際学術セミナーを開催している。平成 29 年度は 12 月末までに「Symposium on Task-based Curriculum and Assessment」を始め 4 つの国際学会を開催、延べ 8 か国から 205 名が参加した。

⑥ 外国人教員(H28. 10. 1 現在)

専任教員 112 名のうち外国人教員は 43 名(38. 4%)

外国人教員の出身国は、中国(13)、ロシア(7)、カナダ(3)、インド(3)、韓国(3)、ベトナム(2)、アメリカ(1)、エジプト(1)、ドイツ(1)、チュニジア(1)、フランス(1)、ブルガリア(1)、オーストラリア(1)、台湾(1)、コロンビア(1)、ニュージーランド(1)、イギリス(2)の計 17 か国

(2) 県立医科大学

① 中国：武漢大学（平成 11 年当時：湖北医科大学）との国際学術交流

平成 11 年 2 月に国際学術交流協定を締結。（湖北医科大学は、平成 12 年 8 月に武漢大学に統合され武漢大学医学部となったことから、平成 13 年 9 月に武漢大学と基本協定の確認書を締結。）平成 15 年 9 月更新、平成 20 年 11 月更新、平成 25 年 12 月更新。

交流実績

平成 11 年度	受入 2 名（教員）
平成 12 年度	受入 4 名（教員） / 派遣 1 名（教員）
平成 13 年度	受入 3 名（教員） / 派遣 2 名（教員）
平成 14 年度	受入 3 名（教員） / 派遣 2 名（教員）
平成 15 年度	受入 3 名（教員） / 派遣 2 名（教員）

平成 16 年度	受入 3 名 (教員) / 派遣 2 名 (教員)
平成 17 年度	受入 3 名 (教員) / 派遣 2 名 (教員)
平成 18 年度	受入 3 名 (教員) / 派遣 2 名 (教員)
平成 19 年度	受入 3 名 (教員) / 派遣 2 名 (教員)
平成 20 年度	受入 3 名 (教員) / 派遣 3 名 (教員)
平成 21 年度	受入 3 名 (教員) / 派遣 3 名 (学生 2 名、教員 1 名)
平成 22 年度	受入 3 名 (教員) / 派遣 10 名 (学生 4 名・4 名、教員 2 名) ※
平成 23 年度	受入 3 名 (教員) / 派遣 6 名 (学生 4 名、教員 2 名)
平成 24 年度	受入 3 名 (教員) / 派遣 6 名 (学生 4 名、教員 2 名)
平成 25 年度	受入 3 名 (教員) / 派遣 6 名 (学生 4 名、教員 2 名)
平成 26 年度	受入 3 名 (教員) / 派遣 4 名 (学生 4 名)
平成 27 年度	受入 3 名 (教員) / 派遣 5 名 (学生 3 名、教員 2 名)
平成 28 年度	受入 4 名 (学生) / 派遣 6 名 (学生 4 名、教員 2 名)
平成 29 年度	受入 4 名 (学生) / 派遣 4 名 (学生 4 名)

※学生派遣時期を 4 月上旬～5 月中旬の約 1 か月間から、3 月上旬～4 月中旬の約 1 か月間に
時期を変更したため、年度内に学生を 2 回派遣

- ② ベラルーシ共和国：ベラルーシ医科大学、ゴメリ医科大学との国際学術交流
平成 25 年 9 月にベラルーシ医科大学、ゴメリ医科大学とそれぞれ学術交流協定を締結。
本学から学生を短期留学派遣、ベラルーシ医科大学、ゴメリ医科大学から医師を短期間招へ
いすることとした。
平成 28 年 1 月協定更新。

交流実績

平成 25 年度	受入 2 名 (教員) / 派遣 1 名 (学生)
平成 26 年度	受入 2 名 (教員) / 派遣 1 名 (学生)
平成 27 年度	受入 2 名 (教員) / 派遣 1 名 (学生)
平成 28 年度	受入 2 名 (教員) / 派遣 1 名 (学生)
平成 29 年度	受入 2 名 (教員) / 派遣 2 名 (学生)

- ③ アメリカ：マウントサイナイ医科大学（ニューヨーク）との国際学術交流
平成 25 年 6 月にマウントサイナイ医科大学の学生を災害医療研修で受入れしたことを契機に
平成 26 年 2 月に相互に学生を派遣研修させることを内容とする学術交流協定を締結

交流実績

平成 25 年度	受入 2 名 (学生) / 派遣 1 名 (学生)
平成 26 年度	受入 2 名 (学生) / 派遣 1 名 (学生)
平成 27 年度	受入 2 名 (学生) / 派遣 2 名 (学生)
平成 28 年度	受入 3 名 (学生) / 派遣 2 名 (学生)
平成 29 年度	受入 2 名 (学生) / 派遣 2 名 (学生)

- ④ アメリカ：オハイオ州立大学放射線腫瘍学講座（コロンバス）との国際学術交流
平成 29 年 6 月に人的交流の枠組みとして包括的な学術交流協定を締結。
放射線腫瘍学分野における若手研究者の育成促進のため、ポスドク、医学部生の短期派遣を
実施予定。
- ⑤ ベトナム：ホーチミン市医科薬科大学との国際学術交流
平成 28 年 8 月、公衆衛生・保健・医療分野における JICA 草の根技術協力事業で長年のカウン
ターパートであったホーチミン市医科薬科大学と、人的交流の更なる促進のため包括的な学術
交流協定を締結。

交流実績

平成 28 年度	派遣 2 名 (学生 1 名、教員 1 名)
平成 29 年度	受入 2 名 (医師) / 派遣 2 名 (学生 1 名、教員 1 名)

- ⑥ オーストリア：国際原子力機関（IAEA：International Atomic Energy Agency）
平成 24 年 12 月、人の健康の分野における協力に関して協定を締結。

協定の主な内容は以下のとおり：

- ・ IAEA による福島健康管理調査プロジェクトの実施支援。
- ・ IAEA 及び本学による、人の健康プログラム（放射線緊急医療を含む）に関する能力開発及び研究協力。
- ・ 会議、セミナー及びワークショップの開催。
- ・ 専門家による支援及び情報の交換。

研究者の往来数、或いは国際会議共同開催実績等

年度	国際会議共同開催実績
平成 24 年度	・ IAEA 郡山会議（12 月 15 日～17 日）
平成 25 年度	・ FMU-IAEA 国際学会議（11 月 21 日～24 日）
平成 26 年度	・ 第 2 回 FMU-IAEA 国際学会議 ・ IAEA 国際専門家会議（5 月 19 日～23 日） ・ FMU-IAEA 国際学会議（7 月 25 日～27 日） ・ FMU-IAEA Consultancy meeting（12 月 1 日～15 日）
平成 27 年度	・ IAEA 医学物理士会議（放医研）にスピーカー派遣 ・ FMU-IAEA テクニカルミーティング及びトレーニングミーティング（3 月 9 日～11 日）
平成 29 年度	・ IAEA-STS Consultancy Meeting（広島大）（5 月 23 日～24 日）にスピーカー等として参加 ・ IAEA-FMU Consultancy Meeting on Review and Future of STS（医大）（8 月 29 日～30 日）開催

- ⑦ カナダ：国際放射線防護協会（ICRP：International Commission on Radiological Protection）
平成 26 年 2 月、放射線防護のシステムに関連する情報・アドバイスの提供等に関して協定を締結。

協定の主な内容は以下のとおり：

- ・ ICRP による放射線防護のシステムに関連する情報・アドバイスの提供。
- ・ 本学による情報やアドバイスの提供。
- ・ 本学による後方支援の提供。
- ・ 両者による共同事業の開発、等。

研究者の往来数、或いは国際会議共同開催実績等

年度	国際会議共同開催実績
平成 23 年度	・ 第 1 回ダイアログセミナー（11 月 26 日～27 日）
平成 24 年度	・ 第 2 回ダイアログセミナー（2 月 25 日～26 日） ・ 第 3 回ダイアログセミナー（7 月 7 日～8 日） ・ 第 4 回ダイアログセミナー（11 月 10 日～11 日）
平成 25 年度	・ 第 5 回ダイアログセミナー（3 月 2 日～3 日） ・ 第 6 回ダイアログセミナー（7 月 6 日～7 日） ・ FMU-ICRP Informal Meeting（7 月 8 日） ・ 第 7 回ダイアログセミナー（11 月 30 日～12 月 1 日）
平成 26 年度	・ 第 8 回ダイアログセミナー（5 月 10 日～11 日）

	<ul style="list-style-type: none"> ・第9回ダイアログセミナー (8月30日) ・第10回ダイアログセミナー (12月6日～7日)
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第11回ダイアログセミナー (5月30日～31日) ・第2回ICRP放射線防護における倫理ワークショップ (6月2日) ・第12回ダイアログセミナー (9月12日～13日)
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ICRP 飯舘村フォローアップダイアログセミナー (7月9日～10日) ・双葉地方 (川内村) におけるダイアログセミナー (10月1日～2日) ・双葉・大熊におけるダイアログセミナー (3月11日～12日)
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ICRP Task Group 93 会議 (7月5日～7日) ・伊達ダイアログセミナー (7月8日～9日) ・ICRP Task Group 101 会議等 (10月2日～4日) ・山木屋ダイアログセミナー (11月25日～26日) (・南相馬ダイアログセミナー (2月10日～11日) 予定) (・ICRP との会議 (2月13日) 予定)

⑧ 国際医学生連盟 (IFMSA) の短期留学生

- 平成22年度 フリードリヒ・シラー大学(1)、バスケット大学(1)、南デンマーク大学(1)
平成25年度 エルマナール大学(1)
平成26年度 ベルゲン大学(1)、東フィンランド大学(1)
平成27年度 フローニンゲン大学(1)
平成28年度 南デンマーク大学(1)、ソノラ大学(1)
平成29年度 エストニア(1)、チュニジア(1)、ポルトガル(1)

⑨ 留学生・研究生 (H29.12.31 現在)

人数：7名

出身国/地域：スーダン(1)、ミャンマー(1)、バングラディッシュ(1)、インドネシア(3)、台湾(1)

⑩ 外国人教員 (H29.12.31 現在)

専任教員742名のうち外国人教員は7名 (0.9%)

出身国/地域：中国(3)、韓国(1)、イギリス(1)、アメリカ(1)、オーストリア(1)

(3) 福島大学

本学では大学間交流協定に基づき海外の49大学と学術交流協定を締結しています。また、33大学と学生交流協定を締結しており、学生の派遣・受入れによる交流を行っています。

① 学術交流協定締結校 22か国・地域 49大学 (H30.3.31 現在)

国名・地域	協定先
中国	北京師範大学
	華東師範大学
	河北大学
	中南財經政法大学
	西南交通大学
	重慶理工大学
台湾	国立台北大学
	文藻外語大学

韓国	韓国外国語大学校
	ソウル市立大学校
	中央大学
ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学
	ベトナム国家大学ハノイ自然科学大学
	ホアセン大学
	トゥイロイ大学
インドネシア	シアクアラ大学
フィリピン	アテネオ・デ・マニラ大学
オーストラリア	クィーンズランド大学
アメリカ合衆国	ウィスコンシン大学オークレア校
	ミドルテネシー州立大学
	ニューヨーク州立大学アルバニー校
	コロラド州立大学
	サンフランシスコ州立大学
	オザークス大学
	ジョージア大学
	セント・トーマス大学
カナダ	ブリティッシュコロンビア大学
	マクマスター大学
英国	ノーサンブリア大学
	グラスゴー大学
	ポーツマス大学
ドイツ	ルール大学ボーフム
	ハノーファー大学
	ルードヴィヒスハーフェン経済大学
オランダ	ハンザU A S・フローニンゲン大学
スペイン	サラゴサ大学
ハンガリー	カーロリ・ガーシュパール・カルビン派大学
スロベニア	リュブリャナ大学
セルビア	ベオグラード大学
ルーマニア	ブカレスト大学
ベラルーシ	ベラルーシ国立大学
ロシア	極東国立交通大学
ウクライナ	ウクライナ国立生命環境科学大学
	チェルニーヒウ国立工科大学
	オデッサ国立環境大学
ノルウェー	ノルウェー生命科学大学
トルコ	アンカラ大学
	中東工科大学
	エーゲ大学

② 学生交流協定締結校 18 か国・地域 33 大学 (H30. 3. 31 現在)

国名・地域	協定先
中国	華東師範大学
	河北大学
	重慶理工大學
台湾	文藻外語大学

韓国	韓国外国語大学校
	ソウル市立大学校
	中央大学
ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学
	トゥイロイ大学
フィリピン	アテネオ・デ・マニラ大学
オーストラリア	クィーンズランド大学
アメリカ合衆国	ニューヨーク州立大学アルバニー校
	コロラド州立大学
	サンフランシスコ州立大学
	オザークス大学
英国	ノーサンブリア大学
	グラスゴー大学
	スターリング大学※
	ウィンチェスター大学※
ドイツ	ルール大学ボーフム
	ハノーファー大学
	ルードヴィヒスハーフェン経済大学
オランダ	ハンザUAS・フローニンゲン大学
スペイン	サラゴサ大学
ハンガリー	カーロリ・ガーシュパル・カルビン派大学
スロベニア	リュブリャナ大学
セルビア	ベオグラード大学
ルーマニア	ブカレスト大学
ベラルーシ	ベラルーシ国立大学
ロシア	極東国立交通大学
トルコ	アンカラ大学
	中東工科大学
	エーゲ大学

※ スターリング大学、ウィンチェスター大学は、本学学生派遣に係る付帯協定を締結

《平成 29 年度学生交流実績》

- ・交換留学派遣 (計 26 名)
華東師範大学 (2)、河北大学 (1)、重慶理工大学 (2)、韓国外国語大学校 (3)、中央大学 (1)、クィーンズランド大学 (3)、ニューヨーク州立大学アルバニー校 (1)、サンフランシスコ州立大学 (3)、オザークス大学 (3)、ルール大学ボーフム (2)、ハノーファー大学 (2)、カーロリ・ガーシュパル・カルビン派大学 (1)、ブカレスト大学 (1)、ベラルーシ国立大学 (1)
- ・交換留学受入 (計 33 名)
河北大学 (14)、重慶理工大学 (6)、クィーンズランド大学 (1)、ルール大学ボーフム (2)、ルードヴィヒスハーフェン経済大学 (3)、カーロリ・ガーシュパル・カルビン派大学 (4)、ブカレスト大学 (2)、ベラルーシ国立大学 (1)
- ・短期派遣 (語学研修) (計 54 名)
中央大学 (4)、クィーンズランド大学 (15)、コロラド州立大学 (7)、ルール大学ボーフム (21)、アテネオ・デ・マニラ大学 (7)

- ・短期受入（短期プログラム）（計 36 名）
重慶理工大学（2）、オザークス大学（1）、サンフランシスコ州立大学（3）、コロラド州立大学（1）、マクマスター大学（5）、グラスゴー大学（18）、ハノーファー大学（6）

③ 外国人教員（H30. 1. 1 現在）

専任教員数：230 名のうち 11 名（4.8%）

出身国：アメリカ（2）、カナダ（2）、ロシア（2）、韓国（2）、中国（1）、ドイツ（1）、
バングラデシュ（1）

④ 留学生（H30. 3. 31 現在）

人数：75 名

出身国/地域：中国（38）、ベトナム（22）、ドイツ（4）、ハンガリー（4）、
ルーマニア（2）、台湾（1）、マレーシア（1）、フィジー（1）、アメリカ（1）、
ベラルーシ（1）

(4) 日本大学工学部

① 学術交流締結校

提携先国名	提携校名	提携期間
アメリカ	テキサス大学オースチン校工学部	2015. 9. 1～2020. 8. 31（1990. 9. 1. 締結開始）
スウェーデン	ウメヲ大学理工学部	2013. 2. 18～2018. 2. 17（2003. 4. 1 締結開始）
イタリア	ベルガモ大学	2017. 4. 1～2020. 3. 31（2014. 4. 1 締結開始）
インドネシア	ジェンデラル・スティルマン大学	2017. 8. 1～2021. 7. 31（2017. 8. 1 締結開始）

② テキサス大学オースチン校工学部との交流実績

提携期間（希望期間）	交流実績
1990. 9. 1-1995. 8. 31	・教員 5 名、大学院生 8 名を派遣 ・学術研究等について情報交換を行った。
1995. 9. 1-2000. 8. 31	・教員 4 名、大学院生 2 名を派遣 ・テキサス大学より教員 4 名を招へいし、特別講義・セミナー・共同研究打合せを行った。（1998. 7. 5-1998. 7. 11） ・学術研究等について情報交換を行った。
2000. 9. 1-2005. 8. 31	・学術研究等について情報交換を行った。
2005. 9. 1-2010. 8. 31	<事業計画> ・短期語学研修等を行い、学生の交換を行った。 ・学術研究等の情報交換を行った。
2010. 9. 1-	<事業計画> ・短期語学研修等を行い、学生の交換を行った。 ・学術研究等の情報交換を行う ・博士課程への進学実績あり ・教職員の派遣・招聘あり
2015. 9. 1～	<事業計画> ・大学院生 1 名を派遣 ・学術研究等の情報交換を行う

③ ウメヲ大学理工学部との交流実績

平成 11 年より日本大学工学部とウメヲ大学間で行われていた「ハプティックテクノロジー」に関する共同研究が契機となり、福島県知的クラスター形成事業の一環として、平成 15 年度にジェトロによる「LL 事業（ローカル・トゥ・ローカル産業交流事業）」の採択を受け、福島県及び福島ジェトロが中心となり、医療・福祉機器分野における共同研究の実施やビジネスマツ

チングを目指す「福島県・スウェーデンLL事業」が設立された。それに伴い、毎年、福島県内及びウメヲ地域の研究機関並びに企業等への招へい及び派遣事業が行われている。

年度	交流実績	受入・派遣人数
平成 15 年度	平成 15 年 11 月 26 日～12 月 4 日 (9 日間)	派遣者：1 名
平成 16 年度	平成 16 年 10 月 24 日～10 月 29 日 (6 日間)	訪問者：8 名
	平成 17 年 1 月 23 日～1 月 30 日 (8 日間)	派遣者：11 名
平成 17 年度	平成 17 年 10 月 25 日～11 月 2 日 (9 日間)	派遣者：1 名
	平成 17 年 10 月 25 日～10 月 31 日 (7 日間)	派遣者：1 名
	平成 18 年 2 月 20 日 (1 日間)	訪問者：11 名
平成 18 年度	平成 18 年 5 月 28 日～6 月 7 日 (11 日間)	派遣者：14 名
	平成 18 年 11 月 14 日～11 月 17 日 (4 日間)	訪問者：6 名
	平成 19 年 3 月 28 日～3 月 31 日 (4 日間)	派遣者：1 名
平成 19 年度	平成 19 年 10 月 27 日～11 月 1 日 (6 日間)	招聘者：1 名
平成 20 年度	平成 20 年 6 月 22 日～6 月 26 日 (5 日間)	派遣者：1 名
	平成 20 年 11 月 20 日～11 月 23 日 (4 日間)	訪問者：1 名
平成 21 年度	平成 21 年 8 月 18 日～8 月 22 日 (5 日間)	派遣者：1 名
	平成 21 年 8 月 28 日～9 月 6 日 (11 日間)	派遣者：1 名
	平成 21 年 10 月 26 日～10 月 29 日 (4 日間)	派遣者：1 名
平成 23 年度	平成 24 年 3 月 24 日～3 月 30 日 (7 日間)	派遣者：1 名
平成 24 年度	平成 24 年 10 月 16 日～10 月 17 日 (2 日間)	訪問者：2 名
	平成 24 年 10 月 25 日～11 月 4 日 (10 日間)	派遣者：1 名
平成 25 年度	平成 25 年 11 月 24 日～11 月 28 日 (5 日間)	派遣者：2 名
平成 27 年度	平成 27 年 11 月 27 日～12 月 4 日 (6 日間)	派遣者：1 名

④ バルガモ大学との交流実績

年度	交流実績
平成 26 年度	平成 26 年 8 月 27 日～9 月 6 日 (11 日間)
	平成 27 年 1 月 4 日～1 月 12 日 (9 日間) 学術研究等について情報交換を行った。
平成 27 年度	平成 27 年 8 月 31 日～9 月 11 日 (12 日間)
	平成 27 年 12 月 17 日～12 月 28 日 (12 日間) 学術研究等について情報交換を行った。
平成 28 年度	平成 28 年 6 月 8 日～6 月 15 日 (8 日間)
	平成 29 年 3 月 27 日～3 月 31 日 (5 日間) 学術研究等について情報交換を行った。
平成 29 年度	平成 29 年 4 月 1 日～4 月 4 日 (4 日間)
	平成 29 年 9 月 3 日～9 月 10 日 (8 日間) 学術研究等について情報交換を行った。

⑤ ジェンデラル・スディルマン大学との交流実績

年度	交流実績	受入・派遣人数
平成 29 年度	平成 30 年 2 月 4 日～2 月 12 日 (9 日間)	訪問者：11 名

(5) 東日本国際大学

① 大学間交流協定締結校

提携先国名	提携校名
アメリカ	ハワイ州カウアイ・コミュニティ・カレッジ (2011.5)
韓国	成均館大学校(1996.6) 世京大学(1997.1) 金浦大学(2001.10) 慶南大学校 (2016.9)

台湾	和春技術学院(1995. 12) 開南大学(2008. 7)
中国	曲阜師範大学(1996. 5) 曲阜師範学校(1993. 3) 撫順師範高等専科学校(1993. 3) 中国政法大学(1999. 10) 安徽大学(2009. 9) 大連民族大学(2000. 10) 香港孔教学院(2002. 6) 瀋陽体育学院(2002. 7) 山東大学(2011. 10)
タイ	ファースト・グローバル・コミュニティ・カレッジ(2001. 1)
イギリス	カンタベリー・クライスト・チャーチ大学(2017. 6)

② 交流内容

平成 19 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・曲阜師範学校、香港孔教学院代表が本学を訪問、孔子祭に参加(H19. 6) ・撫順市友好交流代表団が本学を訪問(H19. 6) ・国際センター長他が香港孔教学院を訪問(H19. 9) ・曲阜師範学校代表が本学を訪問、鎌山祭を見学(H19. 10) ・上海電気学院代表が本学を訪問(H19. 10)
平成 20 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・香港孔教学院、和春技術学院代表が本学を訪問、孔子祭及び論文発表会に参加(H20. 6) ・国際センター長他が開南大学を訪問、交流協定を締結(H20. 7) ・国際センター長他が和春技術学院校長を訪問(H20. 7) ・国際センター次長他が成均館大学校を訪問、交流活動の打合せ(H20. 9) ・事務局長、国際センター長他が上海電気学院創立 55 周年記念式典・国際フォーラムに参加(H20. 10) ・附属高校生徒 111 名が修学旅行で成均館大学校を訪問(H20. 11) ・事務局長、国際センター長他が成均館大学校を訪問(H20. 12)
平成 21 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・成均館大学校、香港孔教学院代表が本学を訪問、孔子祭に参加(H21. 6) ・経済情報学部生 1 名が協定に基づき大連民族学院へ短期留学(H21. 8～11) ・安徽大学副学長他 12 名が本学を訪問(H21. 10) ・事務局長、副学長、国際センター長が成均館大学校を訪問(H21. 11)
平成 22 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長、副学長、国際センター長が成均館大学校を訪問し孔夫子誕降 2561 年春期積尊大祭(孔子祭)に参加。(H22. 5) ・国立台湾大学、成均館大学校、安徽大学、香港孔教学院の代表者が本学訪問、孔子祭、国際交流懇親会(トークラウンジ)に参加。 ・経済情報学部 准教授 1 名が協定に基づき成均館大学校、儒学東洋学部に共同研究員として派遣。(H22. 7～9) ・国際センター長が成均館大学校を訪問。(H22. 7) ・副理事長、留学生別科長、国際センター長が中国山東大学訪問(H22. 9) ・副理事長、国際センター長、国際センター職員 3 名が成均館大学校を訪問(H22. 9) ・韓国・世京大学訪問団が本学を視察(H22. 10) ・本学経済情報学部教員が中国山東大学文史哲研究院に派遣。(H23. 2～3)
平成 23 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長・国際センター長がアメリカ・ハワイ州のカウアイ島を訪問し、カウアイ・コミュニティ・カレッジとの友好協定の打合せを実施(H23. 2)し、姉妹校を協定締結(H23. 5) ・副理事長・国際センター長・本学教員一人が韓国の成均館大学校を訪問(H23. 7) ・理事長・教授が香港孔教学院の孔子祭に参加(H23. 9) ・副理事長が団長とする中国山東大学訪問団(7人)が山東大学にて開催される創立 110 周年記念国際シンポジウムに参加し、学術交流を図るとともに姉妹校協定を締結(H23. 10)
平成 24 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・本学経済情報学部教員 1 名が台湾和春技術学院を訪問し、国際シンポジウムで講演(H24. 4) ・台湾和春技術学院から 2 名の学生が研修の為来学(H24. 6) ・協定締結校の韓国成均館大学校、中国山東大学、香港孔教学院を始め、今後の交流が期待される国立台湾大学からの代表者が来学し、孔子祭及びシンポジウムに参加した。(H24. 6) ・韓国成均館大学校に本学国際センター長、経済情報学部教員が訪問し、韓国成均館大学校の儒学大学院長と交流し、両学の協力関係をより深めるようになった。(H24. 7)

平成 25 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・協定締結校の韓国成均館大学校、中国山東大学、国立台湾大学からの代表者が来学し、学校法人昌平齋創立 110 周年記念式典、孔子祭及びシンポジウムに参加した。(H25. 6) ・韓国成均館大学校に本学理事長、国際センター長、経済情報学部教員が訪問し、韓国成均館大学校の儒学大学院長と交流し、両学の協力関係をより深めるようになった。(H25. 7) ・国際センター係長が台湾和春技術学院を訪問し、現地の教職員及び学生と交流した(H25. 7) ・国際センター係長がネパールの日本語教育機関を訪問し、本学への留学理解を深める。現地の学生と交流した(H25. 7) ・本学経済情報学部教授が中国山東大学を訪問し、現地の教職員及び学生と交流(H26. 2) ・本学学長が、ふくしまフェスティバル IN ハノイに参加(H25. 11)
平成 26 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・国立台湾大学及び孔子第 79 代直裔が本学を訪問(H26. 6) ・教育研究・交流のため、協定提携校中国山東大学教員 2 名を受入れ(H26. 10～11) ・本学理事長が協定提携校韓国成均館大学校を 2 回訪問(H26. 7・10) ・本学教員及び学生が協定提携校韓国成均館大学校を訪問(H26. 8)
平成 27 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・日中韓三か国シンポジウムに理事長、儒学文化研究所長、東洋思想研究所長・副所長及び教員が参加 ・学生による海外研修・異文化交流 ・教員による韓国成均館大学校での研修・交流 ・学生がイギリスに行き、英語特別講座など異文化交流
平成 28 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・学生による海外研修(2016. 9) ・韓国慶南大学校関係者が来学・学術交流(2016. 9) ・イギリスカンタベリー・クライスト・チャーチ大学教員が来学・交流(2016. 10) ・嘉悦大学学長補佐であるビシュワ ラズ カンデル氏が来学し、ネパール留学生指導要領について講義(2016. 10) ・中国上海専門学校関係者が来学・交流(2016. 10) ・学術交流・教育関係交流のため、本学による大連民族大学訪問(2016. 12) ・カナダのクィーンズ大学教員が来学・交流(2017. 1) ・アメリカのオースティン・コミュニティ・カレッジ教員が来学・交流(2017. 1) ・学生がイギリスに行き、英語特別講座など異文化交流(2017. 2) ・タイ青少年訪日団が来学・異文化学習及び交流(2017. 3～4)
平成 29 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・タイ青少年訪日団が来学・異文化学習及び交流(2017. 3～4) ・理事長、学長の韓国慶南大学校訪問(2017. 4) ・理事長、学長の韓国成均館大学校及び成均館訪問(2017. 4) ・韓国慶南大学校総長・前統一部長官が来学・記念講演等学術交流(2017. 6) ・イギリスカンタベリー・クライスト・チャーチ大学教員が来学・協定調印式(2017. 6) ・理事長、大学教職員の韓国成均館大学校訪問・交流(2017. 7) ・本学学部生が大連民族大学へ短期語学留学(2017. 8～9) ・姉妹校イギリスカンタベリー・クライスト・チャーチのターナー先生によるイギリス紹介のプレゼンテーション(2017. 10) ・日中友好交流キャンプ(2017. 11) ・駐エジプト日本大使館の大使による講演(2017. 11) ・東日本国際大学海外事務所全体会議(2018. 2) ・日本語スピーチコンテスト参加(2018. 2) ・学生がイギリスに行き、英語特別講座など異文化交流(2018. 2～3) ・エジプト考古学研究所によるエジプトツアー(2018. 3) ・タイ青少年訪日団が来学・異文化学習及び交流(2018. 3～4)

(6) 桜の聖母短期大学

ア 姉妹校提携

- ①米国 1992年11月 セイクレッド・ハート大学（コネチカット州）と姉妹校締結
- ②米国 1994年7月 コンコーディア大学（オレゴン州）と姉妹校締結
- ③米国 1998年10月 セントルイス大学（ミズリー州）と姉妹校締結

イ 米国ホームステイの実績（期間：29日間のホームステイ）

米国文化（キリスト教）をホームステイの体験を通して異文化の理解を図り、学生の国際的視野を涵養することを目的とした研修。

- 1979年12月 ロサンゼルス、サンディエゴ、サンフランシスコ 学生34名 教員2名
- 1980年7月 ロサンゼルス、ハワイ、サンフランシスコ 学生40名 教員2名
- 1981年7月 バンクーバー、ホノルル、サンフランシスコ 学生49名 教員2名
- 1982年7月 サンフランシスコ、ロサンゼルス、ホノルル 学生25名 教員2名
- 1984年7月 サンフランシスコ、ロサンゼルス、ホノルル 学生73名 教員4名
- 1986年7月 シアトル、カルガリー、バンフ、ジャスパー 学生92名 教員6名
- 1989年8月 シアトル、バンクーバー、ビクトリア、バンフ 学生77名 教員5名
- 1990年8月 ポートランド、ニューヨーク、アトランタ 学生58名 教員3名
- 1991年8月 ポートランド、ニューヨーク、アトランタ 学生76名 教員3名
- 1992年8月 ミドルタウン、ニューヨーク、オーランド、ニューオリンズ 学生50名、教員3名
- 1993年7月 ミドルタウン、ニューヨーク、オーランド、ニューオリンズ 学生44名 教員2名

ウ ヨーロッパ研修（期間：11日間の研修旅行）

本学の創立者である聖マルグリットブルジョアの生誕の地を訪ね、本学の精神のルーツに触れ、ヨーロッパの生活文化を探ることを目的とした研修。引率教員1名～2名

- 1983年7月 オランダ、スイス、パリ、イギリス 学生12名 教員1名
- 1985年7月 西ドイツ、イギリス、フランス 学生40名 教員2名
- 1987年7月 イギリス、フランス、ドイツ 学生44名 教員2名
- 1989年8月 イギリス、フランス、ドイツ 学生41名 教員2名
- 1991年8月 イギリス、フランス、ドイツ 学生36名 教員2名

エ インド研修（期間：約21日間の研修マザー・テレサの施設でのボランティア活動含む）

キリスト教見地から見た「国際化」は単なる先進国追随ではなく、真の新しい地平を見ようとするなら発展途上国の兄弟達に触れ、奉仕の精神を持たせることが必要だという見地から、インドのマザー・テレサの施設で奉仕活動を行う。引率教員1名～2名

- 1982年3月 ボンペイ、ホナヴァ、デリー、ウタクモンド、ゴア 学生1名
- 1983年3月 ボンペイ、ホナヴァ、デリー、コーチン、マンガロール、ゴア 学生4名
- 1984年3月 ボンペイ、ホナヴァ、コーチン、ウタクモンド、マンガロール 学生2名
- 1985年3月 カルカッタ、ボンペイ、ゴア、デリー、ジャイプール 学生7名
- 1987年3月 カルカッタ、ボンペイ、ゴア、デリー、ジャイプール 学生5名
- 1988年3月 ボンペイ、ホナヴァ、ゴア、デリー、アグラ、ジャイプール 学生5名
- 1989年3月 ボンペイ、ホナヴァ、ゴア、デリー、アグラ、ジャイプール 学生6名
- 1990年3月 カルカッタ、アグラ、デリー、ボンペイ、ホナヴァ、ゴア 学生6名
- 1992年2月 カルカッタ、デリー、ボンペイ、アグラ 学生21名

オ 国際ボランティア（米国：オレゴン州 コンコーディア大学）

福祉の先進国であるアメリカの福祉の実情に触れることで、本学で学んだ福祉の内容を、更に発展させ、応用・実施することを目的とした研修。

- オレゴン州ポートランド市 コンコーディア大学 学生45名 教員2名
- 同上 学生40名 教員1名

同上

学生 41 名 教員 1 名

カ 英語学科 2 か月・3 か月留学 (米国・カナダ)

本学教員が複数名で引率し、留学先大学にて正課授業を行う。学生はホームステイ先から現地大学に通学する。英語を母国語とする国で英語とその文化に学生を浸らせながら、英語及びその国の文化を学ぶプログラムである。現地で取得した単位はそのまま認める。

1994年5月-7月	カリフォルニア州ピッツァ・カレッジ	学生 88 名	教員 2 名
1995年5月-7月	コネチカット州 セークレッドハート大学	学生 80 名	教員 2 名
1996年5月-7月	コネチカット州 セークレッドハート大学	学生 84 名	教員 2 名
1997年5月-7月	コネチカット州 セークレッドハート大学	学生 80 名	教員 2 名
1998年5月-7月	ミズーリ州 セントルイス大学	学生 80 名	教員 2 名
1999年5月-7月	ミズーリ州 セントルイス大学	学生 80 名	教員 2 名
2000年5月-7月	ミズーリ州 セントルイス大学	学生 76 名	教員 2 名
2001年5月-7月	ミズーリ州 セントルイス大学	学生 69 名	教員 2 名
2002年5月-7月	カナダ アルバータ州 セント メーリーズ大学	学生 56 名	教員 2 名
2003年5月-7月	カナダ アルバータ州 セント メーリーズ大学	学生 47 名	教員 2 名
2004年5月-7月	カナダ アルバータ州 セント メーリーズ大学	学生 70 名	教員 2 名
2005年5月-7月	カナダ アルバータ州 セント メーリーズ大学	学生 59 名	教員 2 名
2006年5月-7月	カナダ ノーザンブリティッシュ コロンビア大学	学生 47 名	教員 2 名
2007年5月-7月	カナダ ノーザンブリティッシュ コロンビア大学	学生 46 名	教員 2 名
2008年5月-7月	アメリカ ユタ州 ユタ州立大学	学生 43 名	教員 2 名
2009年5月-7月	アメリカ ユタ州 ユタ州立大学	(希望したが、新型インフルエンザで中止)	学生 33 名 教員 2 名
2010年5月-7月	アメリカ ユタ州 ユタ州立大学	学生 26 名	教員 2 名
2011年7月-9月	アメリカ ユタ州 ユタ州立大学	(希望したが、東日本大震災による行事日程変更により中止)	

キ 桜の聖母短期大学 短期留学プログラム

旅行社主催のプログラムを、本学の1か月語学学習プログラムとして実施。ホームステイ及び語学研修を行う

2012年2月6日-3月18日	カリフォルニア州サンディエゴ	カプランインターナショナル	学生 14 名
2013年2月10日-3月3日	カリフォルニア州サンフランシスコ	ILSC-SAN FRANCISCO	学生 12 名

ク 桜の聖母短期大学 海外研修プログラム 英語研修・国際ボランティア

桜の聖母短期大学のルーツであるカナダを訪れ、英語研修の実施、国際ボランティアプロジェクトへの参加、歴史のある地区への観光等を通して、国際的視野を広げるプログラム。

2013年9月2日-9月16日	カナダ：モントリオール、トロント、キングストン	学生 19 名	教員 2 名
2014年9月1日-9月15日	カナダ：モントリオール、トロント、キングストン	学生 9 名	教員 2 名
2015年9月4日-9月17日	カナダ：モントリオール、トロント、キングストン	学生 16 名	教員 2 名
2016年9月3日-9月16日	カナダ：モントリオール、トロント、キングストン	学生 11 名	教員 2 名
2017年9月2日-9月15日	カナダ：モントリオール、トロント、キングストン	学生 7 名	教員 2 名

(7) 郡山女子大学

① 姉妹校提携

米国 1995年 ハワイ州立大学大コミュニティカレッジと姉妹校締結。

② 姉妹校との交流

1996年～2005年 附属高校英語科の学生を中心に、夏休みを利用したハワイ大学での短期語学研修を実施。

2012年 附属高校生徒のハワイ大学語学研修復活。

2013年 元ハワイ大学副学長兼ハワイ大学コミュニティカレッジ総長 津野田・ジョイス・幸子氏による講演会実施。

2014年8月31日～9月7日 大学・短大の学生を対象にした「グローバル・レディ育成研修ツアー in ハワイ 2014」を実施。 学生7名教員1名

2016年8月30日～9月6日 大学・短大の学生を対象にした「グローバル・レディ育成研修ツアー in ハワイ 2016」を実施。 学生13名教員1名

2017年8月28日～9月4日 大学・短大の学生を対象にした「グローバル・レディ育成研修ツアー in ハワイ 2017」を実施。 学生43名教員1名
次年度も実施予定。

③ 国際交流語学講座

県内の社会人を対象とした語学講座を2012年10月より実施。

2017年度 講師は全てネイティブ・スピーカー

前期

英語（初級） 受講者 10名

英語（中級） 受講者 8名（含学生2名）

中国語 受講者 5名

後期

英語（初級） 受講者 13名（含学生4名）

英語（中級） 受講者 8名（含学生1名）

中国語 受講者 8名（含学生1名）

④ 外国人教員

専任教員84名のうち外国人教員2名、非常勤の外国人教員1名。

外国人教員の出身国は、アメリカ（3名）。

(8) いわき明星大学

① 国際交流協定

国名	中国
締結先（大学名等）	瀋陽薬科大学
締結時期	2008年（平成20年）5月27日
締結内容	両大学の友好と学術交流を促進し、国際的な視野を拡大する

② 外国人教員

〈教員〉専任教員117名のうち、外国人教員は3名（2.6%）

外国人教員の出身国は、中国(1)、韓国(2)

(9) 奥羽大学

国際交流協定

国名	韓国
締結先(大学名等)	慶熙大学
締結時期	1975年(昭和50年)10月
締結内容	学術交流を中心とした国際交流を行っている。大学間の友好、研究の情報交換、学生・教職員の交流を目的としている。

(10) 福島学院大学

① 国際交流協定

平成29年度現在はない

② 外国人教員

〈教員〉専任教員58名のうち外国人教員は4名(6.8%)

外国人教員の出身国は、中国(1)、ポーランド(1)、アメリカ(1)、フィリピン(1)

(11) 福島工業高等専門学校

① 国際交流協定

国名	フランス
締結先(大学名等)	リール第一大学付属リールA技術短期大学 トゥール大学付属ブロワ技術短期大学 ヴァラシエンヌ大学付属ヴァラシエンヌ技術短期大学 リトラル大学付属リトラルコートドパル技術短期大学
締結時期	2010年(平成22年)5月10日
締結内容	東北地区等の高専によるコンソーシアムと、フランス技術短期大学によるコンソーシアムによる包括協定。 教職員及び学生の交流並びに専門技術、知識及び情報の共有を行う。
国名	フランス
締結先(大学名等)	アルトワ大学付属ベテューヌ技術短期大学 アルトワ大学付属ランス技術短期大学
締結時期	2012年(平成24年)6月15日
締結内容	東北地区等の高専によるコンソーシアムと、フランス技術短期大学によるコンソーシアムによる包括協定。 教職員及び学生の交流並びに専門技術、知識及び情報の共有を行う。
国名	フランス
締結先(大学名等)	ルアーブル大学付属ルアーブル技術短期大学
締結時期	2016年(平成28年)6月24日
締結内容	教職員及び学生の交流並びに専門技術、知識及び情報の共有を行う。
国名	フィンランド
締結先(大学名等)	ヘルシンキメトロポリア応用科学大学、トゥルク応用科学大学
締結時期	2012年(平成24年)2月3日
締結内容	東北地区等の高専によるコンソーシアムと、フィンランドの大学によるコンソーシアムによる包括協定。 学生及び教職員の交流並びに専門技術、知識及び情報の共有を行う。
国名	ブラジル

締結先(大学名等)	サンパウロ大学サンカルロス校工学部
締結時期	2013年(平成25年)4月2日
締結内容	学生及び教職員の交流並びに専門技術、知識及び情報の共有を行う。
国名	オーストラリア
締結先(大学名等)	ジェイムズクック大学
締結時期	2014年(平成26年)10月17日
締結内容	学生及び教職員の交流並びに専門技術、知識及び情報の共有を行う。
国名	中国
締結先(大学名等)	撫順職業技術学院
締結時期	2015年(平成27年)5月29日
締結内容	協力意向書締結。
国名	メキシコ
締結先(大学名等)	グアナファト大学
締結時期	2015年(平成27年)8月12日
締結内容	学生及び教職員の交流並びに専門技術、知識及び情報の共有を行う。
国名	カナダ
締結先(大学名等)	バンクーバーアイランド大学付属高校
締結時期	2017年(平成29年)3月6日
締結内容	学生の学術・文化交流を行う。
国名	中国
締結先(大学名等)	大連東軟信息学院
締結時期	2017年(平成29年)3月31日
締結内容	学生及び教職員の交流並びに専門技術、知識及び情報の共有を行う。
国名	韓国
締結先(大学名等)	韓国技術教育大学校
締結時期	2017年(平成29年)7月19日
締結内容	学生及び教職員の交流並びに専門技術、知識及び情報の共有を行う。
国名	中国
締結先(大学名等)	陝西工業職業技術学院
締結時期	2017年(平成29年)9月14日
締結内容	学生及び教職員の交流並びに専門技術、知識及び情報の共有を行う。
国名	アメリカ
締結先(大学名等)	シリコンバレージャパンユニバーシティ
締結時期	2017年(平成29年)11月14日
締結内容	学生及び教職員の交流並びに専門技術、知識及び情報の共有を行う。
国名	イギリス
締結先(大学名等)	ハートフォードカレッジ
締結時期	2017年(平成29年)11月21日
締結内容	学生の海外研修の機会についての発展及び促進。
国名	ポルトガル
締結先(大学名等)	ポルト工科ポリテクニク
締結時期	2017年(平成29年)11月23日

- ② 海外協定校への学生派遣状況（H29.12.31.現在）
19名
（韓国2名、中国7名、アメリカ5名、フランス4名、フィンランド1名）
- ③ 短期留学生受入状況（H29.12.31.現在）
29名
（フランス5名、フィンランド2名、オーストラリア2名、アメリカ13名、カナダ3名、イギリス1名、ルーマニア1名、ベネズエラ1名、バハマ1名）
- ④ 長期留学生在籍状況（H29.12.31.現在）
人数：7名
（インドネシア2名、カンボジア1名、ラオス1名、モンゴル1名、マレーシア2名）
- ⑤ 外国人教員（H29.12.31.現在）
専任教員78名のうち外国人教員は2名（2.6%）
外国人教員の出身国は、中国(1)・韓国(1)
※常勤の教員及び短時間再雇用教員・特命教員の教員を含む教員数は89名